



ゴクローサン

5963 ハート通信



VOL. 102 竹原運輸株式会社

発行日 令和3年7月15日

事務所スタッフからの一言

皆様、日頃は格別のご愛顧を賜りまして誠にありがとうございます。
心より感謝を申し上げます。

「安全の本質」とはなんでしょうか？

考えられる要素を出してみます。

マニュアルを守っていれば安全である。

交通ルールを守っていれば安全である。

安全3原則（1.整理整頓 2.点検整備 3.標準作業）を実行すれば安全である。



これらはすべて必要条件です。しかし、安全な状態は常に一定ではありません。
天候、体調、現場の人間関係など、様々な条件が複雑に絡み合ってきます。

目的と状況によって方法は変えなければなりません。非常時に通常のマニュアルは機能しません。だから常に安全な状態とは、考え続ける習慣が大事だと思っています。

だから、弊社の経営理念は 「安全第一を考える」

一日一日、今日の、今の安全第一を、常に考えて考動して、安全な社会を創っていきます。

編集長 専務
竹原 和行

更なる安全運転管理体制を実施します

先月、八街市で起きた児童死傷事故につきましては、誠に痛ましい限りであり、亡くなられた方のご冥福を心よりお祈りすると共に、お怪我をされた方の早期のご回復をお祈り申し上げます。

さて、この事故については車両がトラックである事、容疑者から基準以上のアルコールが検知された事で、我々運輸業界が大注目する出来事になりました。

このトラックは白ナンバートラックであり、主に自分の荷物を輸送する為の車で、緑ナンバー（事業用）に比べると、事業所が行う安全運転確保については、法令面でやや厳しくない所もあるのかなと思います。しかし、ナンバーの色がどうあれ、又、トラック、乗用車の車種がどうあれ、飲酒運転は絶対に許してはダメです。

今回の事故で大事なのは、「白ナンバーだから安全管理が出来てなかったのか」と批評することではなく、我が身に振り返り、当社の飲酒運転チェックはどうなのかを今一度見直す機会にすることです。

今後、一定基準以上の白ナンバーを保有する事業所にあっては、安全運転管理が更に厳しいものになっていくでしょうし、それ以上に我々緑ナンバーの事業者も安全運転管理については、より厳しい安全管理体制が求められると思います。皆様のご信頼に応えていけるよう、更に安全運転、安全作業の実現に努力して参ります。



社長 竹原 正和

近年、気象庁の会見などで「命を守る行動を」と呼び掛けている報道をよく耳にするようになりました。豪雨・土石流・地震・津波と、災害の報道を聞かない年がないほど頻発しています。そのたびに多くの尊い命が失われています。私も平成 16 年 7 月に起きた福井豪雨によって身内を亡くした一人です。その為か「豪雨」と聞くと身近な事に感じ、災害に遭われた家族の安否確認ができない方、亡くなられた方とその家族の気持ちを考えると辛くなり、ただただ皆様のご冥福を心からお祈りするばかりです。

なぜこのよう豪雨に見舞われるのが、4 年連続で 7 月上旬に西日本で頻発しているのでしょうか？

気象庁によりますと、7 月に近づくと梅雨前線の北上に伴い中国で起こる大雨の地域も北上します。その結果、日本上空の大気も徐々に不安定になり、積乱雲が発達して大雨になりやすくなるそうです。

また、大雨の直接的な原因になるものが東シナ海などから地表付近に流れ込む多量の水蒸気が原因とされ、水蒸気が流れやすい地域は、6 月は日本の南方にあるものが、梅雨前線と共に徐々に北上し 7 月上旬にかけて九州の南沖合周辺まで水蒸気が集中する地域が北上してきます。その為に、西日本で大雨になり易いとのこと。

異常気象や地球温暖化、最近では特に注目されている線状降水帯による豪雨などで呼びかけられる「命を守る行動」は冷静に判断し、行動したいと思っています。皆様も災害をほかの地域で起こっている事とは捉えず、いつ災害に見舞われるかわからないという事を心に留めていることが大切だと思います。



コロナ禍が叫ばれるようになり早、1年以上がたちました。

その間私たちの日常は大きく変化し、また思わぬ影響が出てきています。

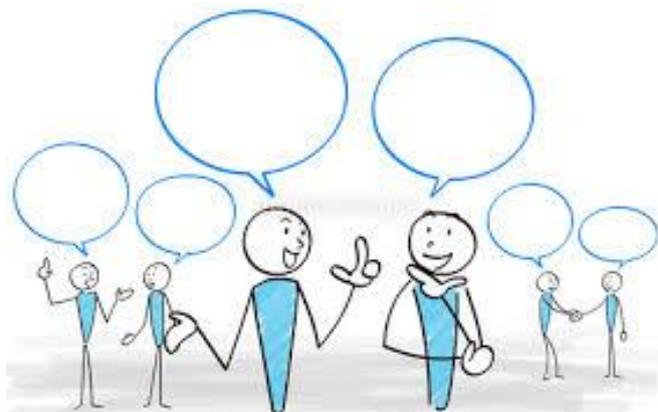
社内でもマスクの常備、アルコール消毒はもちろん日々体温確認など日常になりました。

建設関連ではウッドショックと呼ばれる構造材を中心とした輸入木材の高騰、品薄が大きな問題となっています。それはアメリカの需要増（コロナ対策による余剰資金・郊外移住の高まり）に始まり中国の買い占め、また世界的なコンテナ不足による物流の停滞が原因と言われています。

まさに一寸先は闇、明日はどうなるか分からないということを目の当たりにしています。

常に柔軟な発想、対応に努めたいと気持ちをあらたにしているところです。また世の中の流れに敏感でいられるようアンテナを高くしていきたいと感じております。

そのためにも今まで以上にお客様とのコミュニケーションを大切にいていく思いでいます。



営業部長 景山 恒司

いよいよ夏本番。今年も私の大好きな夏がやってきました。やっぱり四季のなかでは夏がお気に入りです。子供の頃、真っ黒になって遊んだ記憶が今でも鮮明に思い出せます。

父が泣きわめく私をプールで一日かけて水泳を覚えてくれたみたいで、3才とか4才の頃だそうです。当然、私の記憶にはありません。(笑) 今だったら虐待で通報されているかもしれませんね。

小学生の時には水泳選手権で金メダルを4コ(1日で)取れるほど水泳が得意でした。自由形と背泳ぎ、リレー、メドレーリレーにも出場しました。平泳ぎだけは得意でなかったことだけはよく覚えています。

あと野球も大好きでした。水泳の個人戦とは正反対のチームプレーが面白くて一生懸命練習しました。帰り道にみんなと寄り道してジュースを飲んだりお菓子や串焼きの魚、団子やら食べながら帰りました。

家に着くと、父にグローブの手入れをさせられました。それがイヤで仕方なかったんです。グリース、ドロースって名称だったと思うのですが油みたいなものを手にとってグローブにこすり付けるので、手は臭くなるし、面倒くさいし…。

自分が使う道具の手入れもできないヤツにホームランが打てるわけがない。守備が上手くなれるわけがない。のような父の持論でした。おかげでホームランも打ったし、守備も上手かったと自負しておりますが。(笑)

あれから40年…(どっかで聞いたような)父も元気に過ごしております。

ホームラン、打点、打率は競えませんが、体調では血糖、高脂血症、肝数値で3冠王。

父に教えてもらった遊びの極意は今の私の全てかもしれません。3才の頃にゴルフを教えてもらっていたら…。と思うこの頃です。

照り返す陽射しや夕立の匂い、扇風機の風など、時代は変わっても何も変わらない記憶に今年も出会えると信じています。 あっそぼー



いつもお世話になりありがとうございます。

暑い季節にマスクが必須アイテムという辛い状況が今年も解消されずにいます。

コロナが流行る以前は「省エネの為に外出して家庭の電力消費を抑え、電力不足を乗り越えましょう」や「計画停電」等々ありましたが、最近では聞かなくなり当たり前に忘れてしまっていました。もしもマスクと外出制限、省エネと計画停電が同時だったらと考えると身も凍る感じがします。

それはさて置き、今年もニュースで水害の映像を見ました。被災された方々にお見舞い申し上げます。

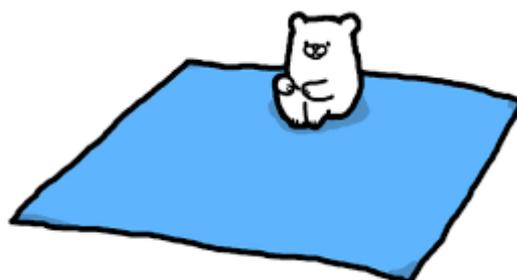
その中で家の前に土嚢が積まれている場面を見かけます。「あの土嚢袋とブルーシート準備しておかないといけないなあ」と思い購入しましたが、中に入れる土（砂）の調達ができていません。花壇の土を使うとすると土嚢袋に何個分あるのか見当も付かず。そこで思考が停止してしまいました。

少し調べてみると各自治体で準備してくれている事が多々見受けられ非常の際（福井市の場合）は個人の判断で使用して下さいとなっています。

とっさの時に思い出せる自信はありませんが、知らないよりは良かったと思います。

皆さんも近くに有るか調べてみてはいかがでしょうか。

外出制限とは言え、夏休みが始まり、平日の日中でも子供が出歩く時期ですので、お車に乗られる際は注意というより警戒して安全を確保しましょう。



辻川 伸吾

連日しのぎがたい暑さが続いています、いかがお過ごしでしょうか。

我が家の玄関先にて間借りをしていたツバメ、雛 5 羽も順調に成長して無事に巣立ちました。

今回我が家に初めてツバメが来て巣を作りだしたので、ツバメの事について色々調べました。天敵のカラスなどに襲われないように、害鳥用ネットを買って取り付けたり、糞が下に落ちて汚れないように、巣の下 50 cmの所に糞受けを付けたりと大変でしたが、雛が日々成長していく様子を私達だけでなく、近所の通園途中の親御さんにも近くで観て頂いたり、

「大きくなってきたね。もうすぐ巣立ちだね」



と会話するきっかけが出来てとても良かったです。

また来年も子育てが観られたらいいなと思っています。



部門長 越 邦治

ホテルや飲食店などで「ホスピタリティあふれるおもてなし」という言葉が使われています。海外からの観光客に対してもよく使われており、現在では病院や福祉施設などでも見かけるようになりました。主にサービス業の現場で使われていますが、単なるサービスではなく「心のこもった」という意味が込められています。

ホスピタリティの由来は、ラテン語の〈客人の保護者〉にあります。これは、巡礼の旅を続ける旅人の空腹や喉の渇き、疲労疾患を患ったときに、旅人に無償で愛の手を差し伸べたことに由来しています。つまり、施設や物の提供者であるホスト側が、その利用者をゲストとしておもてなし、その喜ぶ姿をみてお互いに幸せを感じるという事が、ホスピタリティ精神であります。

なかなか「おもてなし」といっても、何をしたら喜んでもらえるのかというのは難しいものですね。やはり、いろいろな事に気づき、相手の立場に立って物事を考える事が大切になってくるのかなと思います。そして、その〈気づき〉も普段の生活の中で如何に〈気づき〉に気付けるかなのかなと思います。

毎日のルーティーンの中にいつもとは違う事をする事によって、今まで気づけなかった事が気づけるようになったりするのかなと思います。



整備部門 谷口 学

いつもお世話になっております。

とうとう東京オリンピックが始まります。このコロナ禍で会場に行くことは出来ませんがテレビで応援しようと思っております。

ここ何年か夏の時期にリビングのエアコンがどうぞ壊れませんかようにお願いながら過ごしておりました。とうとう我が家に新しいエアコンがやって来ました。コロナ禍で家にいる機会が多い今、早めをお願いしたところ暑くなる前に取付工事が完了し、本当に感謝しております。お願いした時も大変混んでいるのでと言われたので、まだまだ工事は先かなと思っておりました。これで今年の夏は快適に過ごすことが出来、オリンピックのテレビ観戦もゆっくりと出来そうです。

夏本番がやって来ます。皆様もくれぐれも体調に気を付けてお過ごし下さい。



吉川 佳代

いつも、ありがとうございます。

スッキリしない天気が続き、全国的に水害が報告されていますが、皆様の地域は大丈夫でしょうか？

今回、出合った言葉です。

「豊かな人生」

言葉で思いやり

体を動かして 人の役に立ち

物や知識を使って相手を喜ばせる

よい言葉 よい行い よい想いが

豊かな人生を作る

一日一つでも、実行したいものです・・・



笠島 弘江